



日時:平成30年11月10日(土) **当日**
場所:阿賀町公民館ほか **49名参加**

開催レポート!

参加者全員でデジタル紙芝居を鑑賞している様子

参加者の主な感想等

- 立川小三郎さんのお話とスライド、感激しました。「母なる川」は大げさでなく実感できました。(東区)
- 中川造船鉄工所では、コーレンボウの話を初めて聞き、中まで見せていただけて良かった。(東区・60代)
- 木崎宿を初めて知りました。また、旧新発田川の舟運など、興味深く聞くことができました。(北区・70代)
- テーマが斬新で良い切り口のツアー。上流から下流までたどり川業を学べて良かった。(秋葉区・60代)
- ツアーに参加して、イザベラ・バードのすべてが興味深く、さらに知りたくなりました。(江南区・50代)
- 弁当は地元の野菜果物や阿賀野川の鮭がうまく取り入れられていたのが良かったです。(東区・60代)
- 病気や裁判ではなく、現地の生のお話が聞けたので、より身近に感じることができました。(江南区・60代)



●旧新発田川・木崎宿跡 ●五十島渡船場跡

▲道中にはゲストガイドがいるスポットがあり、五十島では元船頭の立川小三郎さん、小阿賀野川の造船所では船大工の中川伸一さん、旧新発田川・木崎宿跡では北宝隊の本間修一さんから解説していただきました。

阿賀野市の「3sai(さんさい)」さんが提供する、阿賀野川・松浜の秋鮭をメインにした豪華な粗食弁当「秋のイザベラ・バード」▶

当日は、イザベラ・バードの阿賀行路をたどる中から、阿賀野川の川業についても学ぶため、阿賀野川流域の様々なスポットをめぐるバスツアーを、計2回催行しました。



阿賀野川
えとこだ
プロジェクト

第22回

P.51に掲載した第22回講座の写真は、すべて山口冬人氏(IPS公益社団法人日本写真家協会会員)が撮影したものです。

子どもたちに語りつぎたい!
阿賀流域“ほんもの歴史体験”プログラム
デジタル紙芝居「阿賀の近代産業ものがたり」の初上演も★



▲当日の現地見学は、草倉銅山本山、鹿瀬ダム、深戸鉄橋など磐越西線スポット、昭和電工(株)鹿瀬工場関連スポットをめぐる、近代産業の光と影の軌跡をたどりました。

◀毎年恒例、阿賀野川・松浜の川鮭をメイン食材とした「農家カフェお茶の間久太郎」さん謹製の豪華な粗食弁当

参加者の主な感想等

- 紙芝居は時代や産業の移り変わりが分かりやすく学べた。絵のタッチが優しい。(阿賀町・中学2年)
- 草倉のような日本の歴史発展の出発点があることを多くの人々に知ってほしい。(阿賀町・30代)
- 鹿瀬工場の成立や変遷に興味深く聞いた。新潟水俣病についても少し詳しくなった。(秋葉区・60代)
- お弁当は見た目も品数も満足です。栗ご飯と松浜の鮭が特においしかった。(北区・50代)
- すばらしい一言。こんなに充実した内容と思わなかった。プラタモリを誘致したらどうか。(西区・50代)
- 歴史の知識が広がりました。光と影の遺産をたどる中で、新たな視点から考える事ができました。(西区)
- 非常に素晴らしいプロジェクト。公害だけでなく広い視野で地域を学べるのは有意義。(東区・60代)

阿賀野川
えとこだ
プロジェクト

第21回

P.41に掲載した第21回講座の写真は、すべて片桐淳氏が撮影したものです。

阿賀野川の上流から下流をめぐる旅
イザベラ・バードがたどった
阿賀流域行路から学ぶ
阿賀野川の川業
～川砂利採取・川舟業・筏流し・船頭・漁業の光と影～

小阿賀野川にある中川造船鉄工所では、全国でも阿賀野川・信濃川にしかない珍しい巨大川舟である「鉄製コーレンボウ」(※砂利運搬船)に試乗させていただきました。



特集
2

開催レポート!

日時:平成30年11月4日(日) **当日**
場所:阿賀野川流域各スポット **28名参加**

日時:平成30年11月11日(日) **当日**
場所:阿賀野川流域各スポット **28名参加**